

モデル公園（第一光ヶ丘公園）のリニューアルに向けて

第一光ヶ丘公園

子どもと地域がつながる公園

- 年代ごとに遊び方を選べる魅力的な遊び場とします。
- 地域交流に使いやすい公園とします
- 親子3代で利用できる空間とします

現状

〇木陰の広場



〇老朽化した遊具



〇自治会による祭り



(出典：東大和第一光ヶ丘自治会
第16回光ヶ丘夏祭り2023実施レポート)

課題

- ベンチなど、親が見守ったり、地域の人が休んだりする場が少ない
- 遊具や植栽帯の配置により解放感が少なく、自由に走り回ったり、身体を大きく動かしたり、遊具で遊んだりしにくい
- 日常的に親子や地域住民が交流できる機会が少ない

機能

〇魅力付けを行う機能



遊び・学び
(乳幼児)

親子で楽しく、安全・安心に
遊べるように！



遊び・学び
(児童)

児童たちが、わくわくする場所
になるように！

〇その他の機能



スポーツ・
健康

ボール遊びや健康づくりなど
楽しく身体を動かせるように！



憩い

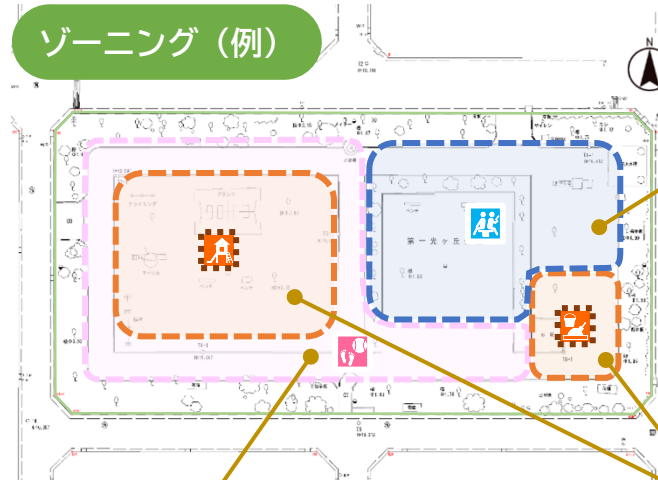
子どもからお年寄りまで、
多世代が集まれるように！

具体的な配置や施設の内容は
みなさんに意見を伺いながら
計画していきます！



東大和市観光キャラクター うまぱえ

ゾーニング（例）



「多世代交流」や「地域活動」により、パーク・グラデーションを実現

●地域交流に使いやすい公園

周辺住民

地域のイベントや交流に活用しやすい空間
(例) ●あずま屋やベンチ付きのテーブル
●芝生等の交流広場(体操・祭り)等



●年代ごとに遊び方を選べる魅力的な居場所

乳幼児（0～3歳）

子どもを安全・安心に遊ばせ、親が見守りやすい
遊び場
(例) ●乳幼児向けの遊び場・砂場
●見守れるベンチ・トイレ 等



児童（4～12歳）

子どもの好奇心を育む魅力ある遊び場
(例) ●複合遊具や個性的な遊具
●ボール遊びができる広場 等



●親子3代で利用できる空間

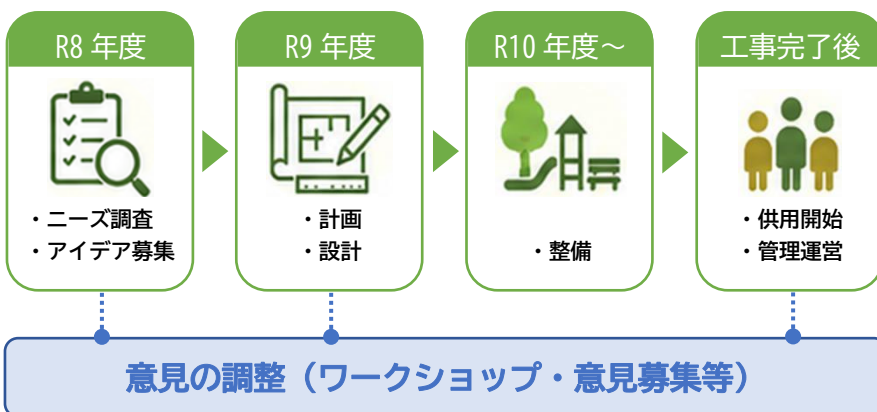
多世代（子ども～お年寄り）

休憩・見守り・多世代が楽しめる空間や
世代問わず健康づくりに活用できる場
(例)
●花木に囲まれた木陰広場
●ジョギング用の舗装 等



これからの進め方

自治会や近隣住民を中心に公園の利用者の意見を聞きながら、公園のルールや施設配置、管理運営などについて検討し、リニューアルを進めていきます。



令和8年度 ワークショップ・意見募集の予定



コラム 「モデル公園とは…」

「パーク・グラデーション」の考え方を先行的に取り入れ、多彩な公園づくりの効果を
実証するため、優先的に再整備を行う公園です。

モデル公園の整備

市民意見を反映し、
先行的に再整備



市民参加のプロセス
設計・整備等の工夫

効果の実証

利用者が増え、周辺との
機能分担や効果を実感



にぎわい
創出
市民満足度
向上

進め方の確立

再整備の進め方を確立
(プロセス・ノウハウ)



モデル公園の再整備で得たノウハウを反映

他の公園への展開

他の公園の再整備を進め
機能分担により魅力の充足

